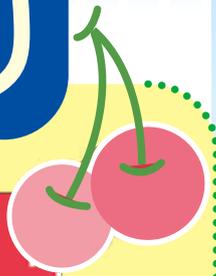




わらび社協

福祉だより

さくらんぼ



令和2年
5月1日発行
第156号



ケアハウス松原 (詳しくは6ページをご覧ください)
▲ 日帰りバスツアー (茨城県大洗でアンコウ鍋をおいしく食べました)

令和2年度 蕨市社会福祉大会・ふれあい広場は令和3年2月13日(土)に開催予定です。

令和2年度
蕨市社協会員募集!

会員制度は、地域福祉活動等を推進していくための財源の確保もありますが、市民のみならず企業のみなさまに、会員という形で社会福祉活動に参加していただいております。趣旨をご理解いただき、多くのみなさまにご協力をお願いいたします。
(詳しくは5ページ)

令和2年度 事業計画と予算

事業計画

基本方針

近年、人口の減少や超高齢社会への進行、長引く経済の低迷、未知なる新型コロナウイルスの蔓延等により、「経済的困窮」や「社会的孤立」状態にある方々の増加、様々な制度の狭間にあるニーズの広がりなど、新たな生活課題が増大、多様化し、より深刻なものとなっています。

また、「介護」と「育児」が同時に直面するダブルケアが必要な世帯等、様々な分野の課題が複雑に絡み合っている状況等もみられ、そうした課題を世帯全体の問題としてとらえる視点が必要となっています。

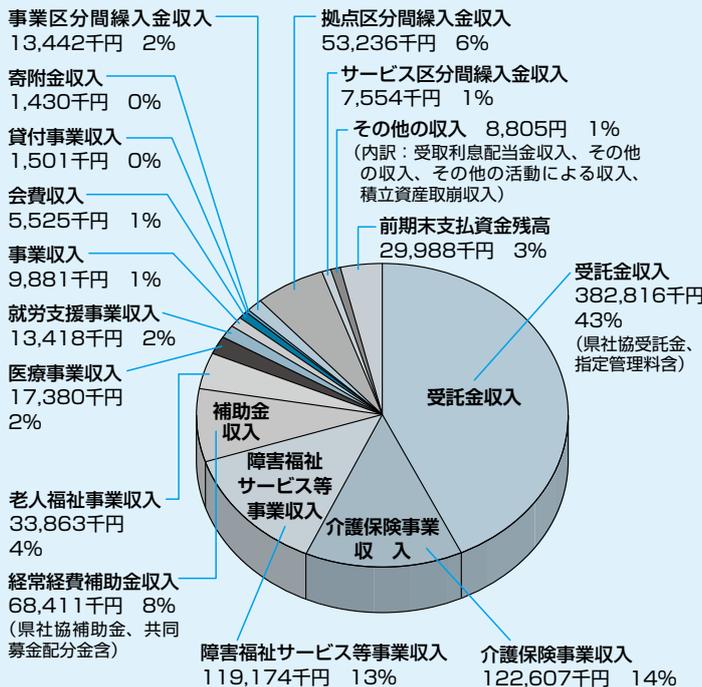
こうした中、国においては「地域共生社会」の実現を目指し、住民が主体的に地域課題を把握し、解決していくための仕組みづくりと、複雑化した課題を受け止めるための包括的・

総合的な相談支援体制の確立に向けた新たな地域福祉施策も進められています。

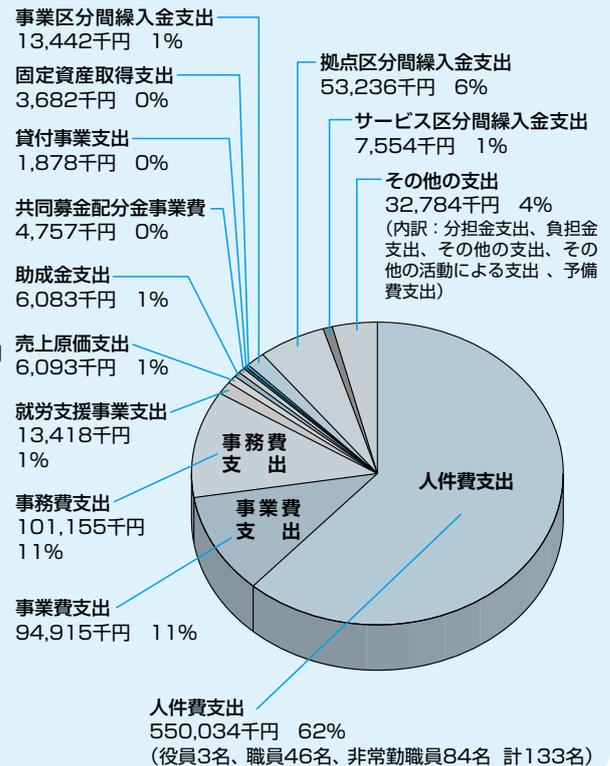
蕨市社会福祉協議会では、法人設立並びに老人福祉センター松原会館開設50年を経過し、老朽化した松原会館の改修計画を進め、地域社会において民間の自主的な福祉活動の中核となり、住民の参加する福祉活動を推進し、保健福祉の諸問題を地域社会の計画的、協働的努力によって解決し、住民誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりの推進を目指し、本年度も「地域福祉事業」をはじめ、「介護保険事業」、「障害福祉サービス事業」等、様々な事業を展開し、「地域社会の人的資源」や幅広い「専門職」等を重層的に連携させることにより、「地域福祉の推進」と「質の高いサービス」の効果的な提供に努めます。

予算

収入 889,031千円



支出 889,031千円



手話通訳者派遣等事業

聴こえない方(ろう者、難聴者等)の言葉である「手話」を音声言語へ通訳したり、音声言語を手話へ通訳したりすることを「手話通訳」といいます。

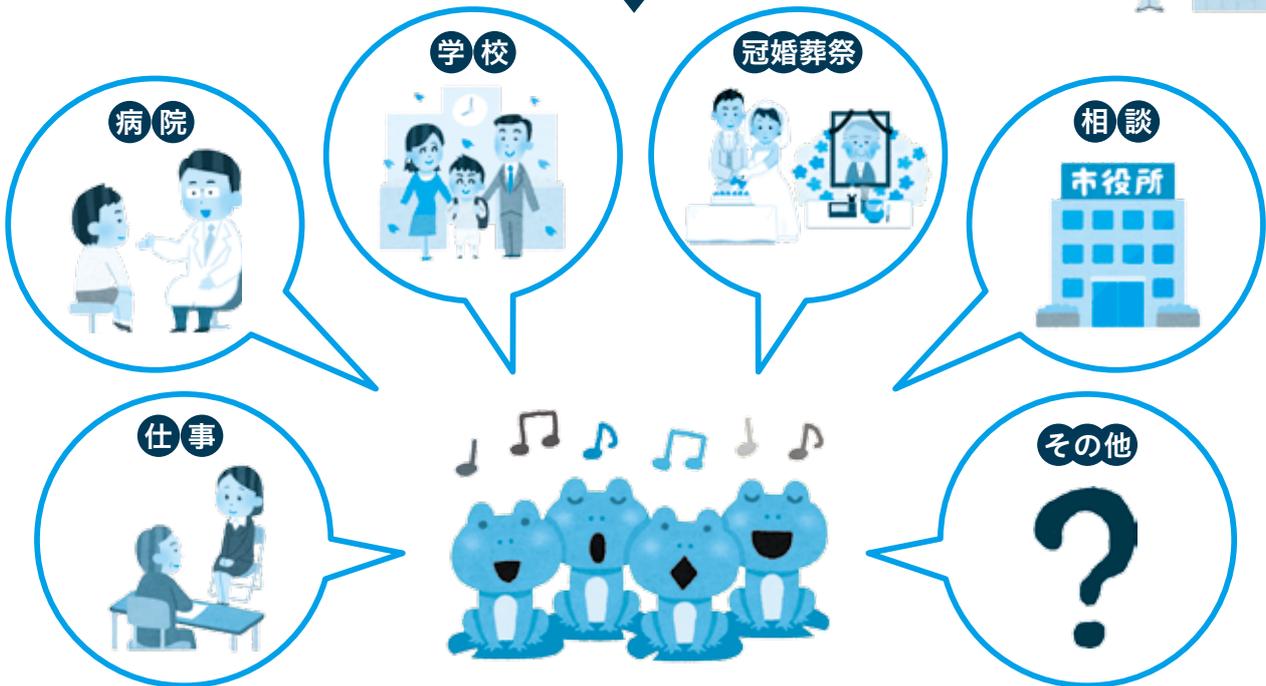
日常生活(職場での相談や病院での診察等)、イベント、講演会など、様々な場面で手話通訳者が活躍しています。

聴こえない方が働いている企業様やイベント等の主催団体様等からのご依頼も受け付けています。(有料になる場合もあります。詳しくはお問い合わせください。)

手話通訳者が必要なかな…?とお考えの皆様、ぜひ一度ご相談ください。



こんな時に手話通訳者を派遣できます!



※その他、手話通訳が必要な時にご相談ください。

※聴こえない方からの生活等のご相談や手話の学習についてのお問合せ等も受け付けております。詳しくはお問い合わせください。

派遣依頼受付時間

平日午前8時30分～午後5時15分
(土・日・祝日・年末年始を除く)

派遣時間

午前8時～午後10時
(時間外は要相談)

申込み方法

下記のいずれかに申込み

蕨市手話通訳者派遣事務所
FAX/TEL 048-433-1940
(電話はお問合せのみ受付)
E-mail:w-haken@warabi.ne.jp

費用

無料
(団体からの依頼は有償の場合有)
※行事の入場料等はお負担ください。

派遣依頼、
相談は専任手話通訳者
清水が受け付けます。



手話通訳者が必要な日の **土・日・祝日を除いた3日前** に以下を
記入してお申込み下さい。

- ① 名前
- ② 住所
- ③ 連絡先
- ④ 手話通訳者の派遣希望日
- ⑤ 待ち合わせ場所
- ⑥ 通訳内容(出来るだけ詳しくご記入ください。)



ボランティアセンターの活動

ボランティア体験学習会

市内学校や一般団体向けに、『車いす・アイマスク体験、手話、点字、高齢者擬似』の体験学習を行っています。



▲中学生の車いす体験



▲点字ボランティア体験

災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練

実際の災害を想定し、災害ボランティアセンターの立ち上げから運営の流れを確認する訓練を、蕨市社会福祉協議会の職員が行っています。



▲災害VCの訓練



ボランティアの育成

親子向け：はじめての手話

耳の聴こえない方との「はじめての」コミュニケーションを親子で体験していただき、手話を学びます。



▲はじめての手話体験

傾聴ボランティア養成講座

6回の講座を通して、人の話に耳を傾ける「傾聴」の技能を学びます。受講者の皆さんが終了後、実際に地域でご活躍です。



▲傾聴の実践形式の講座

「ボランティアをやってみようかな?」「どんなボランティアが有るかな?」

皆さん、一歩を踏み出してみませんか!!

2020

はじめてのボランティア体験プログラム



- 体験プログラム実施期間：8月中
- 対象者：小学生～社会人
- 申込み：6月にHP、回覧、公民館等に申込書設置。
(ご記入後ボランティアセンターへ持参もしくは郵送)
- オリエンテーション：2020年7月18日(土)
蕨市総合社会福祉センター

問合せ ボランティアセンター
電話 048-433-1915

前年度参加者感想

- ボランティアをする前は、いそがしくて大変だろうと思っていたけれど、実際やって楽しくて、人が多く来るほど、なぜかうれしい気持ちになりました。
- いざやってみると話して、色々な人とかかわっていくことで、私もお相手の方々も笑うことができ、とてもやりがいを感じる事ができました。

第37回 蕨市高校生・中学生ワークキャンプ

学校や学年を越えて同じ目的を持った仲間と2泊3日一緒に過ごし施設での活動を通じ、ボランティアの理解を深めます。

実施 8月上旬 活動場所：市内保育園を予定



蕨市社協 令和2年度 会員募集

皆さまからご協力いただいた会費で、このような支部事業等を実施しています。
(内容や対象は支部により異なる場合があります。)

愛の給食

ひとり暮らしの高齢者等に配食を行います。
(無料・配食要件あり)



見守り活動

ひとり暮らし高齢者等に対し、見守り活動を行っています。

慰問活動

福祉施設や在宅で寝たきりの高齢者等に慰問活動を行っています。

上記のほか、ボランティアセンターの運営や毎年11月に開催する社会福祉大会並びにふれあい広場の費用にも充てられています。今年度は、2月13日(土)に実施予定です。

年会費

個人会員 1口 1,000円
法人会員 1口 5,000円

各支部総会終了後、支部の委員が集金にお伺いさせていただきますので、ぜひ、継続加入にご協力ください。

会員になっていただいた皆さまを社会福祉大会ふれあい広場に招待しています。



無料で福祉車両や車いすを貸出します

●福祉車両貸出し

車種：日産キューブ
乗車定員：4名(車いす乗員含む)



●福祉機器の貸出し

1か月以内は無料です。



子供用もあります

●お近くの公民館等でも「車いす」の貸出を行っています。ご利用にあたっては、各施設にお問い合わせください。

郵便はがき

3 3 5 8 7 9 0

料金受取人払郵便

蕨局承認

5000

蕨市錦町3-3-27

蕨市社会福祉協議会
令和2年度 社協会費担当 行

差出有効期間
令和4年4月
30日まで
郵便切手は
不要です



お名前	ふりがな	性別
電話番号	() -	
ご住所	〒	

個人会員	1口	1,000円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人会員	1口	5,000円	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご記入いただきました個人情報は、蕨市社協会員募集に関する業務の目的以外には利用いたしません。



蕨市社協では、上記事業のほか介護保険事業や障害福祉サービス事業など様々な事業も実施しております。

ご利用ください。

詳しくは、蕨社協パンフレット、または、ホームページをご覧ください。

会員加入申込方法

新規で加入いただける方は、左のハガキに必要事項を明記の上ポストに投函してください。

社協職員が連絡の上で集金に伺わせていただきます。

FAXでもお申込いただけます。

FAX 048(444)7050

軽費老人ホーム ケアハウス松原 \ 入居者募集! \

安心して豊かなシルバーライフを!

食事をはじめ健康管理・趣味の教室・レクリエーション・生活の相談など、日常生活に必要なサービスを提供します。

一人部屋 (約18畳)



ゆったりとした広さの明るい居室

二人部屋 (約31畳)



ご夫婦でご利用いただけます

お風呂



自慢のお風呂でリフレッシュ!!

●レクリエーション

季節の催し(お花見・交流会・忘年会・新年会)・外出・各種教室・レクリエーション(予防体操・スポーツ・ゲーム・散歩 他)

●緊急時対応

各居室や浴室などには緊急通報装置が設置され、相談員室・警備員室に連絡できます。

●利用料

入居時の一時金はありません。
利用料についてはお問い合わせください。

入居できる方

60歳以上で次の条件を満たした方です。

- ① 市内に在住して1年以上の方。
もしくは、3親等以内の扶養義務者が1年以上市内に在住している方
- ② 身体機能が低下して自炊や独立した生活が困難な方

※夫婦や親子、兄弟姉妹など2人で利用できる居室もあります。

+++++ \ ケアハウス松原 イベントの様子 / +++++

入居者の皆様が楽しんで参加していただいています。



▲ 先生を招いての絵手紙教室の様子です



▲ のたて野点(屋外でのお茶会)を行い、歓談

施設見学・入居相談などお気軽にご相談ください。 ☎ 048-432-6747

ドリーム松原 地域活動支援センターをご存じですか？

ドリーム松原は、おおむね65歳未満の障害者手帳をお持ちの方で、外出機会を増やしたい方、仲間を作りたい方、リハビリや創作活動などをやってみたい方が利用されています。

活動時間は午前10時から午後2時30分までです。

ドリーム松原の利用については下記にお問い合わせください。



▲ ゴロ卓球の様子



▲ 身体全体を使った椅子体操

問合せ ドリーム松原 地域活動支援センター 電話 048-432-6830

多機能型事業所 スマイラ松原 \ 利用者募集 /



利用者募集 (生活介護、就労移行、就労支援B型)

生活介護 (定員45名)

利用者の興味や特技を活かせる活動や、情操的な活動を通じて、「伝える力・感じる力・自己選択・決定ができる力」を育み、引き出す支援を行います。

日常生活支援や作業活動支援等を行うとともに、社会参加の場を提供します。

主な活動 散策・作業・創作・リトミック・陶芸 等



就労移行 (定員6名)

一般就労を希望する方に対して、その方にあったプログラムを作成し、必要なスキルの習得・訓練を行います。さらに、現場実習等を通じて適正の見極めや企業とのマッチングをサポートします。

職業訓練メニュー 軽作業・ピッキング・事務補助・掃除 等

就労支援B型 (定員29名)

自立した日常生活・社会生活が営むことができるように、生産活動やその他の活動機会を提供し、知識及び能力向上のため必要な訓練を通じて、就労に向けた援助を行います。

作業内容 受託作業・パン製造販売・施設外就労



見学は随時受け付けています。まずはご連絡をお待ちしています。

利用に関するお問い合わせ

電話 048-444-6647

E-mail: sumaira-b@outlook.com

※ 蕨市外の障害のある方の利用につきましても受け付けています。(B型・就労移行)

※ 一緒に活動したりお手伝いをしてくださるボランティアさん、パン製造補助員を募集しています。(時間等応相談)

ご利用ください！相談事業所

生活にお困りの方

蕨市生活自立相談支援センター

経済的に困窮し、生活の維持が困難となるおそれのある方々に対して包括的な相談支援を行います。相談者に寄り添った支援を行うことで自立を目指します。

対象となる方

- ・蕨市内に在住の方で、失業などにより生活にお困りの方
- ・生活保護を受給していない方

相談受付

月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
午前8時30分～午後5時15分

※お越しの際はなるべく事前にご連絡をお願いします。

問合せ 048(445)1377



障害のある方

ドリーマ松原 障害者相談支援センター

障害者手帳の有無にかかわらず、障害のある方が安心して生活出来るよう支援いたします。福祉サービス利用をご希望の際は、「サービス等利用計画」の作成をお手伝いします。また基幹相談支援センターも併設されているため、より専門的な支援も行う事が出来ます。お気軽にご相談ください。

対象となる方

- ・蕨市内在住の障害児(者)やご家族の方など

相談受付

月～金曜日の午前8時30分～午後5時

問合せ 048(432)6829

就労支援センター 「働きたい」を応援します！

関係機関と連携して就職のお手伝いをします。まずはご相談ください。

対象となる方

- ・蕨市内在住の障害者やご家族の方

相談受付

月～金曜日の午前8時30分～午後5時

問合せ 048(432)6820

高齢の方

蕨市第一地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者等のみなさんが住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるように、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などの専門職が連携し、介護・保健・医療・福祉等のさまざまな面から総合的に支援します。

介護予防 自立した生活を送れるように支援します

権利擁護 高齢者等のみなさんの権利を守ります

総合相談 さまざまな相談に対応します

包括的・継続的ケアマネジメント

暮らしやすい地域作りをめざします

問合せ 048(434)6721

蕨指定居宅介護支援センター

介護支援専門員(ケアマネジャー)が、介護保険のサービスを利用する方などからの相談に応じます。

訪問調査等により、利用者の希望や心身の状態を考慮して、適切な在宅サービスが利用できるように市町村、在宅サービス事業者、介護保険施設等との連絡調整を行います。

利用できる方

介護認定審査会において、要介護と認定された方

営業日及び時間

午前8時30分～午後5時

問合せ 048(432)6821

上記の他、生活や福祉全般に関する相談ができる「心配ごと相談事業」(毎月第1火曜日・8月を除く)も開設しています。地域の民生委員さんのご協力を得て、公民館等で実施しています。詳しい場所・時間については「広報わらび」をご覧ください。

老人福祉センター 松原会館

老人福祉センター松原会館の入浴施設をご利用の皆様へ

設備等の老朽化により、このたび令和2年5月31日をもちまして、入浴施設の利用を終了とさせていただきます。

何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

長い間ご利用いただきまして、誠にありがとうございました。



第41回 蕨市社会福祉大会

第30回 ふれあい広場

開催日のお知らせ

今年度の開催日は、令和3年2月13日(土)となりました。

例年とは異なる時期での開催となりますが、宜しくお願いいたします。

詳細が決まり次第、改めて告知いたします。



わらび ファミリー・サポート・センター

提供会員募集中 子育てのお手伝いしませんか!

子育ての体験を活かしたい

子どもが好き！
子どもと関わりたい活動がしたい

空いた時間を有効活用したい



わらびファミリー・サポート・センターは蕨市の子育て支援事業です。子育ての援助を受けたい「依頼会員」と援助を行う「提供会員」が会員になって、地域で(蕨市内)子育てを支える(有償ボランティア)会員組織です。(1時間当たり報酬700円～)

・提供会員になるには…蕨市在住で、特別な資格は必要ありません。

開催日	受付時間	開催時間	開催場所
7月16日(木)	9:20～	9:30～12:20	交流プラザさくら
10月27日(火)	9:20～	9:30～12:20	蕨市立東公民館
令和3年 1月29日(金)	9:20～	9:30～12:20	総合社会福祉センター



子育てを支援する
ボランティア
基本時間内
1時間 700円～

会員登録に必要なもの

- 申込者(親)の写真2枚(タテ3cm×ヨコ2.4cm)
- 申込者(親)本人確認ができる公的書類(例：免許証・保険証など)
- 印鑑 ●お子様の健康保険証のコピー(依頼・両方会員のみ)

お子様連れでも参加できます

託児が必要な方は必ず事前にご相談ください。

依頼会員説明会(子どもを預けたい人限定)※事前にご予約ください。

7月12日・日曜日、午前10時30分より、福祉センターで行うセンターまつりで登録申込みができます。通常は平日のみの受付になりますので、是非この機会にお越しください。

問合せ 048(443)1800

みなさまのあたたかい心に感謝します



ありがとうございました。

寄付者一覧 令和元年12月13日～令和2年4月7日

(単位:円)(敬称略)

蕨地区自転車商組合	29,400	(株)メイプルリーフコーポレーション 代表取締役 鈴木 輝彦	50,000
塚越日本共産党後援会 黒坂 宣彦	5,000	明治神宮崇敬会 蕨支部	8,000
堀江 八重子	5,000	蕨地区自転車商組合	23,100
中央7丁目自治会 会長霜越浩(獅子舞新年会)	30,000	埼玉土建 一般労働組合 蕨戸田支部	16,568
蕨地区自転車商組合	21,700	戸田・蕨・川口市三市社協連絡協議会 会長 永井 武雄	30,000
いきがい大学 蕨12期校友会 会長 森田 益行	3,348	蕨地区自転車商組合	16,800
公益社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会 南彩支部 支部長 鳥山 勉	35,000		



ふじかわまさひろ
藤川昌弘
南町支部副支部長

南町支部も他の支部同様に「愛の給食サービス」事業を含め、地域と連携して福祉活動に取り組んでいます。

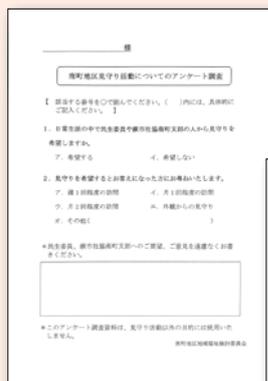
その中でも南町支部の特色でもある「75歳以上の単身高齢者の見守り活動」の取り組みについてご紹介いたします。

従来南町支部と南町地区民生委員児童委員協議会（南町地区民児協）とは別々に見守り活動を実施していましたが、平成24年10月に南町支部と南町地区民児協の両者の代表者18名による南町地区地域福祉検討委員会を発足させ、社協本部と連携しながら数回の議論を経て、平成25年4月に南町支部長が委員長に就任、南町支部と南町地区民児協が連携した見守り活動を実施スタートさせました。

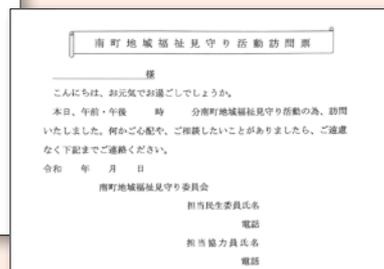
この連携により情報の共有も図られ、今迄以上に、地域の皆さんに寄りそった見守り活動に効果が顕れています。実務的には民生委員さんによる対象者の確認、見守り活動についての意向アンケート実施、南

町支部協力員との合同打合せ会実施、南町地区地域福祉検討委員会の定期開催等があげられます。

今後共、地域福祉活動の課題でもある高齢者の急増、孤立・孤独死への対応に加え、地域住民と町会・行政・社協との相互連携に努め、さらに地域に密着したより良い見守り体制へ取り組んでいきたいと思えます。



▲見守りアンケート



▲見守り活動訪問票を活用し、安否確認を行っています

みんなきてね 第22回 いっしょにきてね
社会福祉センターまつり

社会福祉センターまつりは、市民と施設、施設利用者そして参加者との交流や、施設に通う障がいを持つ方々への理解と蕨市の福祉拠点として社会福祉センターを多くの市民の皆様を知っていただくことを目的に開催します。



7月12日(日)
午前10時～午後1時

手話通訳あり



企画・発行



社会福祉法人 蕨市社会福祉協議会

〒335-0005 埼玉県蕨市錦町3丁目3番27号（蕨市総合社会福祉センター内）

電話 048(443)6051 FAX 048(444)7050 e-mail w-syakyo@warabi.ne.jp

ホームページ <http://www.warabi.ne.jp/~w-syakyo/>

掲載されている記事はホームページでもご覧いただけます。

蕨社協 検索



この福祉だよりの発行は
共同募金の配分を受けています。



わらび社協福祉だよりは資源保護のため再生紙を使用しています。

次回の社協だよりは11月1日発行です。点字版・テープ版の「さくらんぼ」をご希望の方は、蕨市社会福祉協議会までご連絡ください。また、点字版については、総合社会福祉センターでもご覧いただけます。